



# 令和6年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和6年11月12日

上場会社名 多木化学株式会社

上場取引所 東

コード番号 4025 URL <https://www.takichem.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 多木 勝彦

問合せ先責任者 (役職名) 総務人事部長

(氏名) 岡本 修

TEL 079-437-6002

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 令和6年12月期第3四半期の連結業績(令和6年1月1日～令和6年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
6年12月期第3四半期	27,809	11.0	1,645	165.5	1,924	124.1	1,388	97.6
5年12月期第3四半期	25,042	1.6	619	67.8	858	60.7	702	57.9

(注) 包括利益 6年12月期第3四半期 2,782百万円 (2.1%) 5年12月期第3四半期 2,841百万円 (61.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
6年12月期第3四半期	163.85	
5年12月期第3四半期	81.10	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
6年12月期第3四半期	54,670	36,301	66.3
5年12月期	51,299	33,899	65.9

(参考) 自己資本 6年12月期第3四半期 36,224百万円 5年12月期 33,819百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
5年12月期				50.00	50.00
6年12月期					
6年12月期(予想)				55.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

5年12月期期末配当金の内訳 普通配当 45円00銭 記念配当 5円00銭('本社新社屋'建設記念)

## 3. 令和6年12月期の連結業績予想(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	38,700	11.0	2,150	135.5	2,650	98.1	1,850	36.4	218.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	6年12月期3Q	9,458,768 株	5年12月期	9,458,768 株
期末自己株式数	6年12月期3Q	981,173 株	5年12月期	992,644 株
期中平均株式数(四半期累計)	6年12月期3Q	8,471,654 株	5年12月期3Q	8,663,427 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(四半期連結損益計算書に関する注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済社会活動の正常化が進む中で、各種政策の効果もあって、緩やかに回復しているものの、物価の上昇や金融資本市場の変動等の影響による下振れリスクなど不透明な状況で推移しました。

このような環境の中、当社グループにおいては令和6年1月から推進している「中期経営計画2028」に基づいて、既存事業の収益力向上などに努めた結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は278億9百万円（前年同期比11.0%増）、営業利益は16億45百万円（前年同期比165.5%増）、経常利益は19億24百万円（前年同期比124.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は13億88百万円（前年同期比97.6%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### (アグリ)

肥料の販売価格は値下がりしたものの、販売数量が回復したことにより、売上高は70億96百万円と前年同期に比べ4.5%の増加となりましたが、営業損失は60百万円（前年同期は1億65百万円の営業損失）となりました。

#### (化学品)

水処理薬剤は、超高塩基度ポリ塩化アルミニウムの販売数量が増加したことや、原料価格の上昇に伴う販売価格の是正に努めたことにより、売上高は88億27百万円と前年同期に比べ10.5%の大幅な増加となりました。

機能性材料は、自動車関連セラミック繊維向け高塩基性塩化アルミニウムの販売数量が需要の回復等により増加したことに加え、スマートフォン向け高純度酸化タンタルの販売数量が好調に推移し、売上高は45億77百万円と前年同期に比べ37.3%の大幅な増加となりました。

その他化学品の売上高は1億16百万円と前年同期に比べ22.0%の減少となりました。

それらの結果、売上高は135億21百万円と前年同期に比べ17.9%の大幅な増加となり、営業利益は14億59百万円と前年同期に比べ49.8%の大幅な増加となりました。

#### (建材)

石こうボードの販売数量が増加したことに加え、販売価格が上昇し、売上高は27億1百万円と前年同期に比べ17.8%の大幅な増加となり、営業利益は16百万円（前年同期は3億33百万円の営業損失）となりました。

#### (石油)

燃料油の販売数量が需要の減退により減少し、売上高は14億7百万円と前年同期に比べ2.5%の減少となり、営業利益は6百万円と前年同期に比べ14.3%の減少となりました。

#### (不動産)

ショッピングセンターの賃料収入は前年同期並みに推移し、売上高は10億7百万円と前年同期に比べ1.0%の減少となったものの、修繕費が減少し、営業利益は5億53百万円と前年同期に比べ5.2%の増加となりました。

#### (運輸)

荷役量は減少したものの、貨物輸送量が増加したことにより、売上高は20億76百万円と前年同期に比べ2.6%の増加となり、営業利益は2億15百万円と前年同期に比べ1.5%の増加となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、546億70百万円（前連結会計年度末比33億70百万円増）となりました。流動資産は、受取手形及び売掛金が10億33百万円減少しましたが、現金及び預金が15億66百万円増加したことなどにより、246億78百万円（前連結会計年度末比8億93百万円増）となりました。固定資産は、有形固定資産が5億76百万円、投資有価証券が19億18百万円それぞれ増加したことなどにより、299億92百万円（前連結会計年度末比24億77百万円増）となりました。

負債の部は、繰延税金負債が6億33百万円増加したことなどにより、183億69百万円（前連結会計年度末比9億68百万円増）となりました。

純資産の部は、利益剰余金が9億64百万円、その他有価証券評価差額金が13億92百万円それぞれ増加したことなどにより、363億1百万円（前連結会計年度末比24億2百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点においては、令和6年7月31日に公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」に変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和5年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和6年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,075	6,641
受取手形及び売掛金	9,233	8,199
電子記録債権	2,248	2,424
有価証券	—	100
商品及び製品	4,274	4,217
仕掛品	242	341
原材料及び貯蔵品	1,931	1,922
その他	790	845
貸倒引当金	△12	△13
流動資産合計	23,784	24,678
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	22,376	24,120
減価償却累計額	△16,086	△16,115
建物及び構築物(純額)	6,290	8,005
機械装置及び運搬具	16,908	17,071
減価償却累計額	△15,641	△15,882
機械装置及び運搬具(純額)	1,266	1,189
工具、器具及び備品	1,571	1,655
減価償却累計額	△1,425	△1,415
工具、器具及び備品(純額)	145	240
土地	7,086	7,057
リース資産	457	449
減価償却累計額	△121	△134
リース資産(純額)	336	314
建設仮勘定	1,255	149
有形固定資産合計	16,380	16,957
無形固定資産		
借地権	—	66
ソフトウェア	317	228
水道施設利用権等	9	9
ソフトウェア仮勘定	—	4
無形固定資産合計	326	309
投資その他の資産		
投資有価証券	10,605	12,524
繰延税金資産	57	53
その他	179	181
貸倒引当金	△34	△34
投資その他の資産合計	10,807	12,725
固定資産合計	27,515	29,992
資産合計	51,299	54,670

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和5年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和6年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,904	6,029
短期借入金	373	355
1年内返済予定の長期借入金	60	62
リース債務	35	34
未払金	1,218	1,295
未払法人税等	174	243
未払消費税等	109	173
賞与引当金	42	214
その他	584	561
流動負債合計	8,503	8,970
固定負債		
長期借入金	335	283
リース債務	342	316
繰延税金負債	1,789	2,422
退職給付に係る負債	3,733	3,692
預り保証金	2,550	2,542
その他	146	141
固定負債合計	8,897	9,398
負債合計	17,400	18,369
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,147	2,147
資本剰余金	1,420	1,446
利益剰余金	26,435	27,400
自己株式	△1,370	△1,352
株主資本合計	28,632	29,640
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,199	6,591
退職給付に係る調整累計額	△12	△8
その他の包括利益累計額合計	5,187	6,583
非支配株主持分	79	77
純資産合計	33,899	36,301
負債純資産合計	51,299	54,670

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和5年1月1日 至 令和5年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和6年1月1日 至 令和6年9月30日)
売上高	25,042	27,809
売上原価	19,967	21,472
売上総利益	5,075	6,337
販売費及び一般管理費	4,455	4,692
営業利益	619	1,645
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	208	225
その他	55	70
営業外収益合計	267	299
営業外費用		
支払利息	8	9
固定資産除却損	12	—
廃棄物処理費用	3	7
その他	2	3
営業外費用合計	27	19
経常利益	858	1,924
特別利益		
固定資産売却益	—	89
投資有価証券売却益	—	22
受取保険金	—	33
補助金収入	214	—
特別利益合計	214	145
特別損失		
災害による損失	—	94
固定資産除却損	—	16
固定資産圧縮損	—	4
特別損失合計	—	115
税金等調整前四半期純利益	1,073	1,955
法人税、住民税及び事業税	491	555
法人税等調整額	△87	14
法人税等合計	403	569
四半期純利益	669	1,385
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△32	△2
親会社株主に帰属する四半期純利益	702	1,388

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和5年1月1日 至 令和5年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和6年1月1日 至 令和6年9月30日)
四半期純利益	669	1,385
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,170	1,392
退職給付に係る調整額	1	4
その他の包括利益合計	2,171	1,396
四半期包括利益	2,841	2,782
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,874	2,784
非支配株主に係る四半期包括利益	△32	△2

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書に関する注記)

受取保険金及び災害による損失

当社グループは、令和6年4月16日に兵庫県播磨南西部で発生した雹被害により、工場建物や製品在庫等に生じた被害金額を特別損失に計上しております。また、被害に対応する受取保険金額を特別利益に計上しております。

なお、今後発生する費用については、合理的な見積りが可能となった時点で計上いたします。また、受取保険金額については、確定した時点で当該金額を特別利益として計上することとしております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和5年1月1日 至 令和5年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和6年1月1日 至 令和6年9月30日)
減価償却費	865百万円	929百万円

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間 (自令和5年1月1日 至令和5年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント							調整額 (注1)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	アグリ	化学品	建材	石油	不動産	運輸	計		
売上高									
アグリ	6,793	—	—	—	—	—	6,793	—	6,793
水処理薬剤	—	7,989	—	—	—	—	7,989	—	7,989
機能性材料	—	3,333	—	—	—	—	3,333	—	3,333
建材	—	—	2,292	—	—	—	2,292	—	2,292
石油	—	—	—	1,424	—	—	1,424	—	1,424
不動産	—	—	—	—	14	—	14	—	14
運輸	—	—	—	—	—	1,931	1,931	—	1,931
その他	—	149	—	—	—	—	149	—	149
顧客との契約から 生じる収益	6,793	11,471	2,292	1,424	14	1,931	23,928	—	23,928
その他の収益 (注3)	—	—	—	19	1,002	92	1,114	—	1,114
外部顧客への売上高	6,793	11,471	2,292	1,443	1,017	2,024	25,042	—	25,042
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	45	—	100	55	358	559	△559	—
計	6,793	11,516	2,292	1,544	1,072	2,382	25,602	△559	25,042
セグメント利益 (△は セグメント損失)	△165	974	△333	8	526	212	1,222	△603	619

(注) 1. セグメント利益 (△はセグメント損失) の調整額△603百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

2. セグメント利益 (△はセグメント損失) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他の収益は「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる取引であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自令和6年1月1日 至令和6年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント							調整額 (注1)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	アグリ	化学品	建材	石油	不動産	運輸	計		
売上高									
アグリ	7,096	—	—	—	—	—	7,096	—	7,096
水処理薬剤	—	8,827	—	—	—	—	8,827	—	8,827
機能性材料	—	4,577	—	—	—	—	4,577	—	4,577
建材	—	—	2,701	—	—	—	2,701	—	2,701
石油	—	—	—	1,391	—	—	1,391	—	1,391
不動産	—	—	—	—	7	—	7	—	7
運輸	—	—	—	—	—	2,001	2,001	—	2,001
その他	—	116	—	—	—	—	116	—	116
顧客との契約から 生じる収益	7,096	13,521	2,701	1,391	7	2,001	26,719	—	26,719
その他の収益 (注3)	—	—	—	15	999	75	1,090	—	1,090
外部顧客への売上高	7,096	13,521	2,701	1,407	1,007	2,076	27,809	—	27,809
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	48	—	89	59	357	555	△555	—
計	7,096	13,569	2,701	1,496	1,066	2,433	28,364	△555	27,809
セグメント利益（△は セグメント損失）	△60	1,459	16	6	553	215	2,192	△546	1,645

(注) 1. セグメント利益（△はセグメント損失）の調整額△546百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

2. セグメント利益（△はセグメント損失）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他の収益は「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる取引であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。